

大阪南支部

事例を通して考える相談援助研修会

事例を通して「相談援助技術」の向上を目指し、自己研鑽の一助に資することができればいいなあ～という思いを込めて、本年度の第3回の研修をします。

今回は高齢者の生活支援の事例です。皆様の奮ってのご参加をお待ちいたしております。

- ◆ 開催日時 平成21年12月8日(火) 19:00~20:45
- ◆ 場 所 大阪府社会福祉指導センター 4階 研修室2
大阪社会福祉士会 事務局向いの建物です。
- ◆ テーマ 「認知症の進行とADL低下による生活支障を伴う人への支援」
独居で介護拒否のあるケース。
障がいのある人への心理的抵抗感を持っており介護サービスにつながりにくい状況。本人は認知症の進行によりトイレの仕方を忘れる、身体状況も立位困難となりつつあり、自宅玄関を生活スペースにしています。今回も複合的な課題のある人への生活支援について考えていきます。
- ◆ 事例提供者 牧村 憲和さん(天下茶屋地域在宅サービスステーションのぞみ)
- ◆ 助言者 現在 依頼中(12月のなにわだより大阪南支部広報で案内します)
- ◆ 定 員 約40名ほど(会場は54名定員です。)
- ◆ 参加費 会員・非会員問わず 無料(職場にもお声をかけてください)
参加申込み 不要です。当日、会場に直接お越しください。
- ◆ 問合わせ先 大阪南支部事務局 大阪市ボランティア情報センター
電話 06(6765)4041(支部長 河元)

今年度第3回目の相談援助研修です。是非、お誘いあわせの上、ご参加ください。事例を提供していただける方を大募集しています。上手く展開できた事例や難航している事例、ラビエンスに迷い込んだ事例(私の場合、ほとんど「迷宮」かも)等々、種別や領域を超えて、いろいろな視点で検討してみませんか?時には一条の光が射すこともありますよ。